



まだ知らない
「嬉しい」を
カタチにする

第64期 報告書

2019年3月21日から2020年3月20日まで



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。ここに、当社の第64期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害の影響により個人消費を中心に経済活動が一時的に押し下げられる局面もありましたが、総じて雇用環境や所得環境の改善が続き、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外では、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱などによる世界経済の不確実性等が与える影響や、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が与える影響もあり、年度後半から景気の先行きは一層不透明な状況で推移しました。

こうした状況のもと当社グループは、今年度を初年度とする中期経営計画をスタートさせました。「美・食・住」を軸として事業本部を再編し、全国ネットワーク網及びグループ各社の全体最適化を図るとともに、シナジー効果の創出に取り組んでまいりました。また、「お客様に寄り添うメーカー」から「お客様にとって、なくてはならないメーカー」を目指した商品開発、モノづくりとサービスの融合による顧客価値を追求し、目標達成に向けた諸施策を推進しております。

なお、当連結会計年度に発生した令和元年東日本台風による被害については、当社グループの業績に大きな影響を及ぼしておりません。

この結果、当連結会計年度の売上高は243億8千5百万円（前期比4.2%増）、経常利益は10億6千万円（前期比9.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億3千7百万円（前期比42.8%減）となりました。

今後の経済見通しは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、国内・世界経済ともに低迷するとの予想が増加しています。2019年度を初年度とする中期経営計画の2年目となる今年度の経営環境は不透明で、外部環境の悪化が一層懸念される状況になるものと見込まれます。

当社グループはこうした状況に対する危機感を共有しつつ、“美・食・住”を軸としたさらなる成長ステージへ向けて、以下の課題に取り組んでまいります。

1. 顧客価値の追求
モノづくりとサービスを通じた顧客価値を追求し、当社グループのスローガン「その手があった！の一手先。」の姿を具現化する。
2. 健康経営の推進
健康は個々人の幸せの礎であり、従業員とその家族の健康は会社が成長し社会的責務を果たすための源である。健康を経営の最重要課題の一つと捉え、従業員とその家族の心身の健康を保持・増進する健康経営に取り組む。
3. “美・食・住”の3領域の拡大
SDGsを含む様々な社会的な課題を“美・食・住”の視点から探求し、その解決に向け、当社グループをあげて新しい事業、商品及びサービスをデザインする。
4. ブランドの強化
社外向けコーポレートブランディング、当社グループ内のインナーブランディング及び採用ブランディングを通じて、魅力あるモノづくり集団としての当社グループの一層の認知度向上を図る。
5. 意識行動の変革
創立70周年を機に刷新した当社グループの理念を全社員が共有し、意識行動の変革を通じて、研究開発型の完成品メーカーとして社会に貢献する企業グループの進化を図る。
6. 経営インフラの強化
当社グループを支える人材、財務、IT、生産ラインといった経営インフラを、グループ全体の最適化を踏まえながら整備し強化する。
以上を課題として取り組んでまいりますので、株主の皆様には、何とぞ、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長

丸山将一

モビリティ&サービス事業

主力の門型洗車機は、SS（サービス・ステーション）向けが油外収益向上への期待感から積極的な設備投資により堅調に推移したものの、カーディーラー向けは設備投資に一服感が見られ、やや伸び悩みました。オイル機器は、カーエアコンの新冷媒対応に伴う新製品発売効果もあり、エアコンガスクリーニング機が伸長しました。情報機器は主にLED表示装置を製造・販売しています。一般店舗向け小型表示機は、需要が振るわず前期実績を下回る結果となりました。特注のビジョンについては、大型フルカラー表示機の場合は受注が低迷しましたが、テーマパークなどに向けた小型表示機が好調に推移し、売上げを伸ばしました。また、SS向けについては、価格看板の一括受注などが奏功し大きく伸長しました。

この結果、モビリティ&サービス事業の売上高は、157億5千9百万円（前期比2.6%増）となりました。



ドライブスルー門型洗車機



SS向け価格看板とフルカラー表示機

ライフ&サポート事業

農家向け商材は、主力製品の低温貯蔵庫が伸び悩み、前期の売上げを下回りました。一方、一般家庭向け商材は、もちつき機の需要が振るわず低調に推移したものの、新発売の電気圧力鍋及び無煙ロースターが好調で売上げに貢献しました。また、新たに事業拡大を図った攪拌機や食品加工機のビジネスも堅調に推移しました。

この結果、ライフ&サポート事業全体の売上高は、59億円（前期比6.3%増）となりました。



電気圧力鍋と無煙ロースター

業績の推移（連結）

区 分	第61期 2016年度	第62期 2017年度	第63期 2018年度	第64期 (当連結会計年度) 2019年度
売上高（千円）	20,558,807	20,480,896	23,396,500	24,385,261
経常利益（千円）	968,201	863,204	1,170,170	1,060,708
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	614,616	477,692	763,596	437,032
1株当たり当期純利益	42円38銭	32円94銭	52円66銭	30円08銭
総資産（千円）	19,744,096	20,856,924	24,789,865	24,680,857
純資産（千円）	10,456,040	10,770,256	11,297,610	11,332,110

(注) 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

■連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	当期 (2020年3月20日現在)	前期 (2019年3月20日現在)
（資産の部）			
流動資産		13,513,828	13,145,294
固定資産		11,167,029	11,644,571
有形固定資産		6,872,647	6,963,814
無形固定資産		2,137,591	2,073,053
投資その他の資産		2,156,790	2,607,702
資産合計		24,680,857	24,789,865
（負債の部）			
流動負債		10,640,213	9,139,457
固定負債		2,708,533	4,352,798
負債合計		13,348,746	13,492,255
（純資産の部）			
株主資本		11,172,132	10,837,106
資本金		3,373,552	3,373,552
資本剰余金		2,947,095	2,951,143
利益剰余金		5,343,891	5,022,867
自己株式		△492,406	△510,457
その他の包括利益累計額		159,977	460,503
その他有価証券評価差額金		151,843	317,216
繰延ヘッジ損益		2,946	4,378
為替換算調整勘定		1,443	20,380
退職給付に係る調整累計額		3,744	118,528
純資産合計		11,332,110	11,297,610
負債純資産合計		24,680,857	24,789,865

■連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	当期 2019年3月21日から 2020年3月20日まで	前期 2018年3月21日から 2019年3月20日まで
売上高		24,385,261	23,396,500
売上原価		16,409,196	15,775,255
売上総利益		7,976,065	7,621,245
販売費及び一般管理費		6,964,104	6,542,143
営業利益		1,011,961	1,079,101
営業外収益		143,676	192,043
営業外費用		94,929	100,974
経常利益		1,060,708	1,170,170
特別利益		124,144	201,673
特別損失		252,424	37,847
税金等調整前当期純利益		932,428	1,333,996
法人税、住民税及び事業税		475,686	549,729
法人税等調整額		19,708	20,669
親会社株主に帰属する当期純利益		437,032	763,596

■連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	期別	当期 2019年3月21日から 2020年3月20日まで	前期 2018年3月21日から 2019年3月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,354,932	1,115,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		△567,552	△2,380,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		△748,428	2,287,027
現金及び現金同等物に係る換算差額		△1,198	△2,012
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		37,753	1,020,018
現金及び現金同等物の期首残高		1,374,418	354,399
現金及び現金同等物の期末残高		1,412,172	1,374,418

■連結株主資本等変動計算書

当期（2019年3月21日から2020年3月20日まで）

（単位：千円）

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当連結会計年度期首残高	3,373,552	2,951,143	5,022,867	△510,457	10,837,106	317,216	4,378	20,380	118,528	460,503	11,297,610
当連結会計年度変動額											
剰余金の配当			△116,009		△116,009						△116,009
親会社株主に帰属する当期純利益			437,032		437,032						437,032
自己株式の処分		△4,047		18,050	14,002						14,002
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額（純額）						△165,373	△1,432	△18,936	△114,783	△300,526	△300,526
当連結会計年度変動額合計	-	△4,047	321,023	18,050	335,026	△165,373	△1,432	△18,936	△114,783	△300,526	34,500
当連結会計年度末残高	3,373,552	2,947,095	5,343,891	△492,406	11,172,132	151,843	2,946	1,443	3,744	159,977	11,332,110

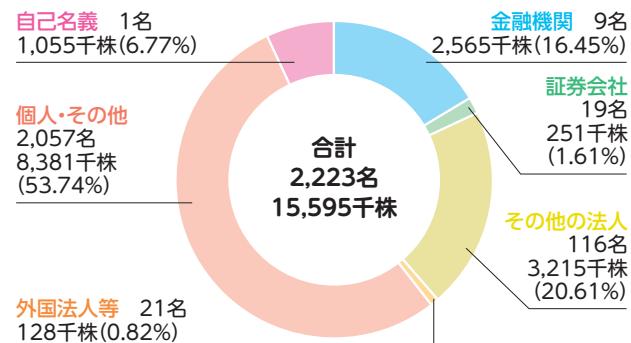
- 発行可能株式総数54,930,000株
- 発行済株式総数15,595,050株
- 株主数2,223名

■大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
丸山永樹	1,294,700株	8.30%
東京中小企業投資育成株式会社	1,170,000	7.50
株式会社八十二銀行	721,000	4.62
株式会社みずほ銀行	721,000	4.62
エムケー精工従業員持株会	615,732	3.94
三井住友海上火災保険株式会社	580,660	3.72
大久保文夫	541,148	3.46
丸山繁夫	504,400	3.23
早川弘之助	454,800	2.91
昭和商事株式会社	279,200	1.79

(注) 当社は、2020年3月20日現在、自己株式を1,055,223株保有しており、上記大株主からは除外しております。

■所有者別分布状況



■会社概要

商号……エムケー精工株式会社
(MK SEIKO CO., LTD.)

本社……長野県千曲市大字雨宮1825番地

東京本社……東京都葛飾区青戸八丁目3番5号

設立……1956年12月17日

事業内容……オート機器、情報機器、生活機器の製造販売

資本金……3,373,552,500円

主要な事業所……本社・工場 長野県千曲市
東京本社 東京都葛飾区
信濃町工場 長野県上水内郡信濃町
支店 札幌・仙台・東京・東関東・北関東
南関東・静岡・新潟・長野・名古屋
金沢・大阪・四国・広島・福岡

従業員数……794名

■役員 (2020年3月20日現在)

代表取締役社長……丸山将一

取締役……早川和弘

取締役……千葉和樹

取締役……沓掛吉彦

取締役……和泉秀樹

取締役……酒向邦明

取締役……上條由紀子※1

取締役……滝沢玲奈※1

取締役……丸山永樹

常勤監査役……近藤重光

監査役……三浦伸昭※2

監査役……倉田浩※2

監査役……廣中龍蔵※2

※1 取締役の上條由紀子氏及び滝沢玲奈氏は社外取締役であります。

※2 監査役の三浦伸昭氏、倉田浩氏及び廣中龍蔵氏は、社外監査役であります。

TOPIC 1

商品開発研究所棟のリニューアル

商品開発研究所棟3階のリニューアルを行いました。2019年度より当社組織に新設した「ライフ&サポート事業本部 電子商品部」のオフィススペースを設置するとともに、最大45名まで同時参加が可能なりモット会議システムを導入した会議室や、試作・試験スペース、キッチンスペースを設置いたしました。

「人と知識が交わる場」をキーワードに、コミュニケーションの活性化を目指した空間を形成し、遠隔地との円滑なコミュニケーションを可能にした体制を構築しております。この先、会議やミーティングの他にもインターンシップでの活用や、採用ブランディングの一環としても利用してまいります。



TOPIC 2

スポーツエールカンパニーの認定

当社は、社員の健康増進のため、スポーツ活動に対する支援と促進に向けた取り組みを行っております。専属保健師による情報発信や、スポーツ活動をポイント加算できる当社独自の研修マイレージ制度などが評価され、2019年12月にスポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定を受けました。

2019年は、スポーツエールカンパニーとして全国で533社の企業が認定されており、長野県企業の認定は当社が初めての事例となりました。



TOPIC 3

健康経営の推進（ホワイト500認定）

当社は、従業員とその家族の心身の健康が、経営計画を達成して社会的責任を果たすための源と考えています。健康で安心して生き生きと働くことができる職場を目指して健康を保持・増進する健康経営の強化に取り組んでいます。基本計画を策定し、健康保険組合・医療機関などの連携を強めながら社長以下全ての役員・従業員がそれぞれの立場で各種施策を実施しています。

この取り組みが顕彰され、当社は、経済産業省及び日本健康会議による「健康経営優良法人2020」において、ホワイト500の認定を受けました（「大規模法人部門」で認定された1,481法人のうちの上位500法人）。

当社は、今後も社員の健康保持・増進を図るとともに、安心して働ける環境づくりに積極的かつ継続的に取り組み、社員の生産性・企業価値の向上に努めてまいります。



TOPIC 4

新製品のご紹介

【モビリティ&サービス事業】

■省スペース門型洗車機「サフィールコンパクト」

奥行8m×幅4mに設置できる省スペース型門型洗車機を開発しました。車両停止位置を洗車機内の奥側に調整することでレール長を短縮し、業界最小クラスの設置面積を実現しました。ブラシ圧を自動補正する機構を搭載して、最適洗浄を実現しています。



■新冷媒ガス対応型「エアコンプレッシャー AF-5000Z」

現行冷媒ガスHFC-134aから次世代冷媒ガスHFO-1234yfへと切替が進む中で、ガスごとに管路を完全分離した兼用型のエアコンガス再生機を発売しました。2つのガスクリーニング工程で、オイル成分や不純物を除去し純度99.99%のガスに再生します。高純度に再生されたガスを車に充填し、新車時の冷却性能を復活させます。

■ストアサインQV-168C

フルカラー表示機に価格看板の機能を搭載した「ストアサインQV-168C」を発売しました。油種価格をタブレットで簡易的に切り替えることができ、油種価格と油外商品等のコンテンツをスケジュールリング表示することが可能になります。決済手段に応じた油種価格もわかりやすく表示することができ、油外商品の広告宣伝にも貢献します。また、幅1,280mm×高1,920mmの大画面と高輝度LEDにより、アイキャッチ効果を高める製品となっています。



【ライフ&サポート事業】

■全自動小型もちつき機「もちブレンダー」

全自動でもち米からおもちが作れるスリムでコンパクトなもちつき機「もちブレンダー」を発売しました。混ぜながら加熱する炊き混ぜ方式のため、もち米をひたす必要がなく、約60分できたてのおもちが完成します。また、切りもちをつきたてのおもちに加工することもでき、切りもちと冷蔵庫にある食材を使って、和洋中、スープ、スイーツなど多彩なおもち料理を手軽に作ることができる製品です。



株主メモ

事業年度	3月21日から翌年3月20日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月20日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月20日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.mkseiko.co.jp)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
1単元の株式数	100株

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、配当金振込指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

エムケー精工株式会社

本社／長野県千曲市大字雨宮1825番地 〒387-8603
TEL.026-272-0601(代) FAX.026-272-4912
<https://www.mkseiko.co.jp>
E-mail/soumu@mkseiko.co.jp

株主優待制度のご案内

①株主優待制度の内容

当社のグループ会社で運営する長野リンドンプラザホテル(長野市南千歳町)の宿泊優待券を贈呈いたします。

②発行基準

宿泊優待券は、2020年3月20日現在、所有株式数1,000株以上の株主様に対し、次のとおり発行いたします。

ご所有株式数	ご優待券
1,000株~1,999株	2枚
2,000株~3,999株	3枚
4,000株~9,999株	4枚
10,000株以上	6枚

③発行日

定時株主総会后、決議通知書に同封いたします。

④有効期限

2021年6月30日

HP紹介



当社のホームページでは、会社情報をはじめとするさまざまな情報をご紹介します。アドレスは以下のとおりです。
<https://www.mkseiko.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

